

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	舞鶴市	代表者名	鴨田秋津		
担当者部署	総務部デジタル推進室デジタル推進課	連絡先電話番号	0773-66-1092		
担当者役職	係長	担当者氏名	齊藤 勝太	連絡先E-mail	
住所	625-8555 京都府舞鶴市字北吸1044番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 秀樹
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	マイナンバーカードの利活用について、本市の状況とご自身の経験を踏まえて、ご助言をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	次回もよろしくお願いたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年10月18日	支援・助言(オンライン)	有	令和5年10月18日	966
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年10月20日	支援・助言（オンライン）	14時30分	15時40分	
				活動時間（分）	70
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	デジタル推進課職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	マイナンバーカードの利用シーンの創出を考えている。国からの事例紹介等を拝見し、様々な利活用方法が増えていることは認識しているが、実装に向けて具体的な情報に乏しい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	利活用シーンの実装に向けて予算化できるよう助言をいただきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	本市の状況と現在考えている利活用シーンについて共有し、現状から考えられる利活用方法についてご助言いただいた。また、他自治体での事例について紹介いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	現状とお伺いしたご助言から、理解を深める部分について認識できた。 ・職員証利用をする場合に、現状同等の機能を維持できるかベンダーへ確認が必要。 ・担当部門の反発はある。協力的であるなら進めるべき。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	次回、市民に交付している様々なカードの状況を見ながら、移行できるものがないか検討していく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 利活用シーンについて助言をいただくことが目的のためアンケートは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	令和6年度中に少なくとも1つ以上の利活用方法を実装する。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

